

もうひとつの家族のカタチ「里親制度」

最近「里親」が全国各地で徐々増加しているのを存じでしょうか。「すべての子どもに家庭の温もり」という想いで里親の支援をおこなっている里親ソーシャルワーカーの会「Amo」の藤田さん、山本さんにお聞きしました。「Amo」とはエスペラント語で「無償の愛」。里親の無償の愛が子どもの健やかな成長を助けます。

里親ソーシャルワーカーの想い

里親ソーシャルワーカーは、県から委託・許可を受けた里親支援機関に配属されています。Amo会長で里親支援ソーシャルワーカーの藤田さんは、児童福祉法に定められた児童養護施設「こぼと学園」にある里親支援機関B型「つむぎ」で勤務しています。

「つむぎ」では、さまざまな理由で親からの保護を受けることのできない2歳から原則18歳までの子どもを養育しています。「将来の温もりのある家庭で過ごせるように、つむぎでは、里親と子どもの思いを織りなしていくように、つむぎでいく活動をおこなっています」と話してくれました。

里親制度とは

里親制度は、養子縁組と混合されがちですが、里親が一定期間、例えば実親の生活が安定するまでの間、子どもを養育する制度です。里親と子どもの戸籍上の繋がりは発生しない点が養子縁組とは異なります。県内では約80人の子どもが里親家庭のもとで生活しています。

里親への登録

実際に里親として登録するためには座学と実習を合わせた研修を受講します。いずれも夫婦（同居する養育を補助する人と共にでも可）揃って受講する必要があります。藤田さんによると、県内では一昨年研修に参加される方が増えているそうです。

里親と子どものケア

里親に預けられる子どもの生活環境が一変します。里親側も家庭の雰囲気が変わります。お互いストレスを抱えての生活がスタートしますが、里親ソーシャルワーカー家庭に訪問して、里親から話を聞いたり、子どもに話しかけたりして、里親家庭での様子を聞き取ります。



様々な資料を準備して啓発活動を実施

一方、県内の里親としての登録人数は令和元年の129人から翌年には158人と22.5%の伸びとなり、これは全国2位でした。子どもたちにとって多くの「支える手」が増えた事に嬉しく思いますが、藤田さんは話します。



紀美野町での出展の様

また、各地域で里親が中心になった里親会が立ち上がっています。養育の日頃の悩みを話し合ったり、子どもとの関わり方のヒントをもらったり、とサロンでの話し合いは時間が足りないくらいだそうです。

また、各地域で里親が中心になった里親会が立ち上がっています。養育の日頃の悩みを話し合ったり、子どもとの関わり方のヒントをもらったり、とサロンでの話し合いは時間が足りないくらいだそうです。

里親制度への理解を

各地でのイベントに出展して、里親制度を知ってもらう活動もAmoにとって大事な活動です。



今年度の養育里親研修日程はこちらをご覧ください



里親ソーシャルワーカーの会 AmO
事務局 〒640-8481 和歌山市直川 1289-12
こぼと学園 里親支援機関B型「つむぎ」内
https://fosterparent-sw-amO.jimdofree.com/
https://www.facebook.com/satooyaswnokaiamo/

NPO・ボランティア団体意見交流会 シニア団体編

シニア世代のみなさんが中心に活動されている団体同士の交流会。活動分野は、健康づくり、地域づくり、福祉活動など、なんでもOK！
県内の団体と交流し、新しい発見をみなさんと楽しみませんか。

- こんなみなさまにおススメ！
- ✓ 自分の団体の活動をみなさんに知ってもらいたい
 - ✓ 他団体がどんな活動をしているか知りたい
 - ✓ 一緒に連携できそうな団体を探したい
 - ✓ 団体が抱える課題を相談したり、課題解決へのアドバイスを参加者のみなさんからもらいたい

日時 7月31日(日) 13:30～15:30
場所 和歌山ビッグ愛9階会議室A
ZOOM オンラインでも参加可能です
対象 シニア世代の方が中心となって活動されている県内のNPO・ボランティア団体
定員 会場・オンライン合わせて30名
参加費 無料(事前にお申し込みください)

お申し込みは下記、もしくは右下のQRコードからお願いします

和歌山県 NPO サポートセンター
和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 9階
TEL 073-435-5424
FAX 073-435-5425
E-mail info@wakayama-npo.jp

こちらをスマートフォンで読み込んでください。